

番号	領域	書名	翻訳者名	所属等	発行年月	備考
22	吃音	ぼくときどきどもるんだよ 7さいから12さいまでのこどもたちのための本	小谷 満	青梅市川辺小学校	H15, 3	400
主な内容 <ul style="list-style-type: none"> サブタイトルからもわかるように、どもる子ども本人にあてたメッセージと本人を取りまく、両親、先生、兄姉・弟妹、祖父母等あてのメッセージで構成されています。 先生や、その他あてのメッセージは切り離して手紙として送れる工夫がされています。 詳しくは、目次をご参照ください。 						
目次 <p>すいせんのことば</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめに この本を読む前に どもるって、たいへんなことなんだ あるときはどもるけど、あるときはどもらない 何が、きみをどもらせるんだらうか？ どもるわけ どもるのは、たくさんのわざがいるんだ！ どもるので、悲しくなったり、はらが<u>たったり</u>するとき どもるのを、からかわれたとき まったくわからない人がいる どもったって、いいんだよ！ きみは、たいせつな一なんだ！ 子どもたちの話すことに、耳をかたむけてみよう きみのことを話してくれないかな だれが、助けてくれる？ おにいさん・おねえさん・弟さん・妹さんのために お父さんたちとお母さんたちのために 学校の先生のために おじいさんやおばあさんのために おじさんやおばさんたちのために・・・など約20のメッセージで構成されています。 ・・・以下略 						
ひとこと・・・【すいせんのことば】・・・ 東京学芸大学名誉教授・日本言語障害児教育研究会会長 谷俊治先生 <ul style="list-style-type: none"> 「とにかく一読するだけで勇気の出る小冊子です。どもりで悩んでいる人にとっては元気百倍、千倍の力になるでしょう・・・」と推薦のことばが書かれています。 家庭にもおすすめですが、何よりことばの教室には一冊は必ず備えておきたい本です。 						
このパンフのおすすめ・・・ 図書館 「どもりA」と「どもりB」(PDF)でご覧になれます。						
備考 *初版はH14年3月						